

メディアリリース

解禁日：2026年2月26日 午前9時（米国東部時間）

CARB-X、AMRの世界的な疾病負担に対応する2026年資金公募を開始

全世界の薬剤耐性感染症を対象とする4つの異なる製品テーマで、治療薬・予防法・診断法の開発案件を募集

(ボストン：2026年2月26日) — 抗菌薬耐性菌対策バイオ医薬品アクセラレーター

（CARB-X）は、抗菌薬耐性（AMR）に起因する世界的な疾病負担の軽減に向けた資金公募の実施を発表しました。[CARB-Xの2026年度資金公募](#)は、4つの明確に区分された製品テーマで構成されています。

● グラム陰性菌感染症に対する直接作用型治療薬

対象は「直接作用型治療薬」に限定されます。これは、特定の細菌標的に対する活性が確認されており、*in vitro*培養系において細菌の生存性を阻害する分子を指します。細菌膜または核酸に対して非特異的に作用する分子は対象外です。

BLIs、排出ポンプ阻害剤、膜透過促進剤など（これらに限定されない）他の分子との併用を要する作用増強戦略、または宿主免疫機構への依存を前提とする戦略は、本募集の対象外です。グラム陽性菌に対して全細胞活性を示し、その活性がグラム陰性菌にも存在する保存性標的を介して発現する化合物に関する申請は、本募集の対象に含まれます。

● AMRの課題に対するCARB-X新規化学骨格 – 標的ベース治療薬

本資金テーマは、検証済みの細菌標的に対して活性を有する新規化学骨格の創出を目的とする提案を募集します。対象となる申請は、以下の5つの「構造が明らかな分子標的」のいずれかに焦点を当てなければなりません。すなわち、臨床的に検証された広域スペクトル標的であるリボソーム、ペニシリン結合タンパク質、タイプIIトポイソメラーゼ、ならびに前臨床段階で検証されたグラム陰性菌標的であるLpxHとLoICDEです。応募者は、これらの化合物を評価するために用意される、所定の生物学的評価試験の一連の工程 (テスト・カスケード) に組み入れることができる十分な量で、類縁体を合成できなければなりません。

● 新生児敗血症予防のためのワクチン以外のアプローチ

対象は、以下に示す4種の主要病原体のうち少なくとも1種に起因する新生児敗血症を予防するためのワクチン以外のアプローチに限定されます。*Acinetobacter baumannii*、*Escherichia coli*、*Klebsiella pneumoniae*、および *Staphylococcus aureus*。妊婦および新生児への投与は対象に含まれます。モノクローナル抗体に関する申請の場合、標的抗原の性質が明らかであり、その内容が申請書に明記されていることが求められます。新生児敗血症に加えて商業的に成立し得る適応症を有するなど、二重適応を対象とするプロジェクトも受理されます。

- **新生児敗血症に対する診断薬**

CARB-Xの「Aligned by Design」戦略に基づき、新生児敗血症の診療プロセス改善を支援するため、迅速かつ低複雑性のトリアージ診断法を求めています。結果取得時間および製造原価は主要な評価基準であり、本患者集団では少量検体での検査が極めて重要です。

世界的な疾病負荷

グラム陰性菌による感染症は治療がますます困難となっており、AMRによる脅威は拡大しています。最新の [推計](#) によれば、CARB-

Xの使命の一環であるグラム陰性菌を標的とする新規強力な抗菌薬の継続的な実用化により、今後25年間でAMRによる累積死亡1,110万人を回避できる可能性があります。最大の削減効果は、南アジア、東南アジア、東アジア・オセアニア、サハラ以南アフリカなどの低・中所得国（LMIC）地域で見込まれます。また、経済的利益も多大となり、新しいグラム陰性抗生物質の導入により、医療費が年間840億米ドル [削減さ](#)

[れ](#)、2050年までに年間1,740億米ドル相当の健康アウトカムの改善が見込まれています。

新生児敗血症もまた重大な世界的公衆衛生上の負担となっています。[BARNARDS研究](#) では、年間250万人の新生児または生後1か月以内の乳児が敗血症で死亡していると推計されています。[LMICにおける新生児敗血症の罹患率および死亡率](#)は特に高く、年間約300万症例、57万人の新生児死亡が世界全体で発生していると推定されています。新生児敗血症は急速に進行するため、輸液および抗菌薬による即時治療が必要です。治療開始が1時間遅れるごとに、死亡リスクは [7.6%](#) 増加します。

「CARB-Xの資金公募は、最もアンメットメディカルニーズが大きく、世界的な公衆衛生への影響が大きい領域との整合を重視して、戦略的に設計されています」と、CARB-Xの研究開発担当暫定責任者であるリチャード・アルム氏は述べています。「優先度の高いグラム陰性菌、新規化学骨格、新生児敗血症に焦点を当てることで、私たちは世界中、特に低・中所得国において最も高い罹患率および死亡率をもたらしている症候群に対して、イノベーションを推進しています。この疾病負荷に基づく体系的アプローチにより、CARB-Xは実臨床での実効性を見据えたイノベーションのリスク低減を確実にしています」

申請プロセス：

各テーマの目標製品プロファイルおよび最低応募要件は、[CARB-X.org](#)にて定義のうえ公開されます。関心表明書は、2026年4月8日午前10:00～2026年4月22日23:59（米国東部時間）まで提出できます。本資金公募の対象範囲や申請プロセスに関する説明、および

質疑応答を目的とした公開ウェビナーを、4月9日と10日の2回にわたり開催いたします。最新情報を受け取るには、[CARB-X ニュースレター](#)にご登録ください。

抗菌薬耐性の疾病負荷が高い地域を含め、世界中からの申請を歓迎します。医薬品開発業界のパートナー企業と同等の能力を実証できる場合、大学研究機関および非営利開発機関からの申請も歓迎します。申請は外部専門家により審査され、最終的な資金提供の決定はCARB-Xが行います。

CARB-Xが2016年に設立された当時、抗菌薬の初期開発パイプラインは停滞していました。設立以来、CARB-Xは14か国で122件の研究開発プロジェクトを支援しており、それらのプロダクト開発者は大きな進展を遂げています。うち24件のプロジェクトが臨床試験に進んだ、またはこれを完了しています。14件は後期臨床開発段階にあり、現在も進行中です。さらに、3製品が上市しています。さらに、研究開発プロジェクトを現在も進行中の10社以上の製品開発者は、CARB-Xのポートフォリオを離れた後も臨床開発を継続するための先端開発パートナーシップを既に獲得しています。CARB-Xの資金提供を受けたすべての製品開発企業は、責任あるスチュワードシップおよびLMICにおける適切なアクセス確保の戦略を明示する「スチュワードシップおよびアクセスプラン」を策定する契約上の義務を負います。

CARB-Xの資金の一部は、米国保健社会福祉省 (U.S. Department of Health and Human Services, HHS)、戦略的準備・対応管理局 (Administration for Strategic Preparedness and Response)、バイオメディカル先端研究開発局 (Biomedical Advanced Research and Development Authority) (BARDA) からの連邦資金 (契約番号 75A50122C00028)、およびウェルカム財団 (Wellcome) (WT224842)、英国保健社会福祉省 (Department of Health and Social Care) のグローバル抗菌薬耐性イノベーション基金 (Global Antimicrobial Resistance Innovation Fund, GAMRIF)、ゲイツ財団 (Gates Foundation)、ドイツ連邦教育研究省 (Federal Ministry of Research, Technology and Space, BMFTR)、カナダ公衆衛生局 (Public Health Agency of Canada, PHAC)、ノボ・ノルディスク財団 (Novo Nordisk Foundation)、イタリア経済財務省 (Ministry of Economy and Finance, MEF)、および日本の厚生労働省からの助成を受けています。HHSの国立衛生研究所 (National Institutes of Health, NIH) の一部である米国国立アレルギー・感染症研究所 (U.S. National Institute of Allergy and Infectious Diseases, NIAID) は、製品開発のための一連の前臨床サービスの利用を通じて、現物サービスの形で支援を提供しています。本出版物の内容は、あくまで執筆者の責任によるものであり、必ずしもCARB-Xの資金提供者の公式見解を表すものではありません。

CARB-Xへのお問い合わせ：Marissa Novel、carbopr@bu.edu

CARB-Xについて

CARB-X (Combating Antibiotic-Resistant Bacteria Biopharmaceutical Accelerator) は、薬剤耐性菌の脅威の高まりに対処するため、初期段階の抗菌剤研究開発を支援することを目的とした世界的な非営利パートナーシップです。CARB-Xは、革新的な治療薬、予防薬、迅速診断薬を支援しています。CARB-Xはボストン大学が主導し、政府機関と財団のコンソーシアムが資金を提供しています。CARB-Xは、世界優先リストで特定された最も深刻な耐性菌、世界的に最も罹患率と死亡率の高い症候群、および患者に必要な性能特性を対象とするプロジェクトにのみ資金を提供しています。 <https://carb-x.org/> | X (旧ツイッター) @CARB_X

BARDAおよびNIAIDについて

米国保健社会福祉省は、すべてのアメリカ国民の健康と幸福を高め、保護し、効果的な保健・福祉サービスを提供し、医療、公衆衛生、福祉サービスの進歩を促進するために活動しています。戦略的準備・対応管理局 (Administration for Strategic Preparedness and Response、ASPR) は、災害やその他の公衆衛生上の緊急事態に対する国内の医療と公衆衛生への備え、対応、復旧を主導しています。ASPR内では、バイオメディカル先端研究開発局 (Biomedical Advanced Research and Development Authority、BARDA) が健康安全保障上の脅威と闘うために必要な医療対策の技術革新、先端研究開発、調達、製造に投資しています。BARDAは、世界における抗菌薬治療薬と診断薬の先端開発の主要な公的セクターの資金提供者でもあり、2010年以降、抗菌薬製品に27億ドル以上を投資しています。この投資により、190以上の抗菌薬製品の開発が支援され、米国食品医薬品局 (FDA) による6つの新しい抗生物質の承認と、10種類の診断薬のFDA 510(k) 認可につながりました。

HHSの一部として、NIHは基礎、臨床、および橋渡し医学研究を実施、支援する米国の主要な連邦機関であり、一般的な疾患と希少疾患の両方の原因、治療、および治療法を研究しています。NIAIDは、米国内および世界中において、感染症および免疫介在性疾患の原因を研究し、これらの疾患を予防、診断、治療するためのより良い方法を開発するための研究を実施、支援しています。

ウェルカムについて

ウェルカム (Wellcome) は、誰もが直面する緊急の健康課題を解決するための科学を支援しています。生命、健康、ウェルビーイングに関する発見的研究を支援し、メンタ

ルヘルス、感染症、気候変動と健康という3つの世界的な健康課題に取り組んでいます。

ドイツ連邦教育研究省 (BMBF)について

研究とイノベーションは、私たちの将来の礎です。[BMFTR](#) による科学と研究の振興は、ドイツの繁栄を確保する上で重要な貢献を果たしています。研究は、ドイツ連邦政府の政策上の優先課題として位置付けられており、これらの分野への予算の拡充を通じて示されています。

グローバルAMRイノベーション基金 (GAMRIF) について

グローバルAMRイノベーション基金 (Global AMR Innovation Fund、GAMRIF) は、低・中所得国 (LMICs) の人々のために、ヒト、動物、環境における抗菌薬耐性 (AMR) の脅威を軽減する、世界中の研究開発を支援するワンヘルス (One Health) 援助基金です。GAMRIFの主な目的は、AMRに取り組むための革新的なワンヘルスソリューションを開発すること、LMICsの状況に即した、利用しやすく、低価格の技術革新の利用可能性を高めること、産学官との国際研究パートナーシップを確立すること、他のグローバル支援機関と協力し、さらなる資金を活用することです。

カナダ公衆衛生庁について

カナダ公衆衛生庁 (Public Health Agency of Canada、PHAC) は、2004年に設立され、公衆衛生、緊急事態への備えと対応、感染症および慢性疾患の管理と予防を管轄しています。その使命は、科学、技術革新、サービス提供、協調的行動を通じて公衆衛生の優先事項に取り組むことにより、カナダのすべての人々とコミュニティの健康を向上させることです。同庁は、効果的な公衆衛生システムを構築するために、あらゆるレベルの政府、非政府組織、国際的なパートナーと緊密に連携しています。PHACには、抗菌薬耐性 (AMR) に対するワンヘルス (One Health) アプローチへの協力を含め、健康上の脅威に対処してきた強固な歴史があります。2023～2027年のAMR全カナダアクションプラン (Pan-Canadian Action Plan on AMR 2023-2027) の一環として、PHACは、優先度の高いアンメットの公衆衛生ニーズに対応するため、カナダで未承認の必須抗菌薬へのアクセス拡大を目的とする経済的プル型インセンティブのパイロットプロジェクトを策定しています。

ノボ ノルディスク財団について

1924年にデンマークで設立されたノボ ノルディスク財団 (Novo Nordisk Foundation) は、慈善事業を目的とする企業財団です。ノボ ノルディスク財団は、人々の健康と社会と

地球の持続可能性を向上させることをビジョンとしています。同財団の使命は、心代謝性疾患および感染症の予防と治療における研究と技術革新を推進し、社会のグリーン・トランスフォーメーションを支援するための知識と解決策を進歩させることです。

www.novonordiskfonden.dk/en

イタリア経済財務省について

イタリア経済財務省 (Ministry of Economy and Finance, MEF) は、経済・金融政策、予算編成、公共投資計画、および公的債務管理に関する、国としての機能と任務を遂行します。同省の活動には、公的支出とその動向の調整・監視、税制政策および税制、国有資産の管理が含まれます。さらに、同省は主要な欧州および国際的な経済・金融フォーラムにおいてイタリア政府を代表し、グローバルガバナンスおよび国際金融協力に関する機能を果たし、国際通貨基金 (IMF)、経済協力開発機構 (OECD)、多数国間開発銀行などの国際経済・通貨・金融機関との関係を維持し、経済・金融関連の内容を含む国際協定および条約の交渉と締結を行います。

日本の厚生労働省 (MHLW) について

厚生労働省 (MHLW) は、国民の生活の安定と向上を図り、経済発展に貢献するため、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上と推進を使命とする日本の省庁です。MHLWは、AMR (抗菌薬耐性) がもたらす緊急の世界的公衆衛生上の脅威を認識し、抗菌薬の研究開発を推進する国内外の様々な取り組みを支援してきました。MHLWは、2024年から2026年までの期間、CARB-Xへの資金拠出を行うことを約束しています。

ボストン大学について

1839年に創立されたボストン大学 (BU) は、国際的に名を馳せる高等教育・研究機関です。約37,000人の学生を擁する、米国で最大規模の私立の寄宿制大学です。BUは、17の学部とカレッジ、コンピューティング&データサイエンス学部、大学の研究および教育の活動に不可欠な数多くの学際的センターや研究所で構成されています。2012年、BUは米国とカナダの主要研究大学からなるコンソーシアム、米国大学協会 (Association of American Universities, AAU) に加盟しました。詳細は、Kim Miragliuolo (kmira@bu.edu) までお問い合わせください。 www.bu.edu